

ニホンザルT1群による長年にわたる被害の解決のための積極的な対策
に関する要望書

日頃より湯河原町の行政運営に対しまして、格別なるご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、本町における有害鳥獣対策に対し継続的にご支援を賜り感謝申し上げます。

本町においては、毎年、継続的にニホンザルによる生活被害調査を行っており、令和7年中の調査結果を取りまとめましたが、依然として被害件数は多く、被害の状況も悪化しています。

湯河原駅の近くである城堀地区で女性がニホンザルの群れに囲まれて足を噛まれる、また、温泉街では旅館の露天風呂で入浴中の男性が足を噛まれるといった事案も発生しています。

被害エリアが山林部から居住地に移行しており、人的被害にも多発しているなど町民の精神的負担は大変大きなものとなっています。

また、ニホンザルT1群による被害がマスコミで取り上げられることも多くなり、町のイメージから主要産業である観光業への影響も懸念されます。

一方でニホンザルT1群への被害対策として、追い払いを通年実施するとともに、「かながわ鳥獣対策支援センター」と協働で加害個体の捕獲や寝床つぶしなど対策を行っておりますが、追い払っても直ぐに市街地に戻ってきてしまい、抜本的な対策が見い出せない状況となっております。

現在、ニホンザルT1群は西湘地域に唯一生息する固有種として保護されていますが、町民の生活が脅かされ被害を被っている状況を看過することはできません。

本町といたしまして、町民の安全性を最優先に考え以前からニホンザルT1群の全頭捕獲を要望してまいりましたが、ニホンザルT1群からの被害解決は最優先課題の1つであり、引き続きニホンザルT1群の全頭捕獲に向けて、早期に管理困難な群れとして除去することを強く要望いたします。

令和8年7月15日

神奈川県知事 黒岩祐治 様

湯河原町長 内藤喜文

